

## 日本農業気象学会2014年度第2回理事会議事録

日 時：6月14日（土）13:30～17:00

会 場：東京大学農学部7号館 A 棟7階セミナー室（東京都文京区弥生1-1-1）

出 席 者：大政謙次、小林和彦、廣田知良、宮田 明、鳥谷 均、富士原和宏、林真紀夫、  
町村 尚、荊木康臣、松岡延浩、脇山恭行、横山 仁、石郷岡康史、平野高司、  
松島 大、中屋 耕、間野正美、杜 明遠、細井文樹

オブザーバ：皆川秀夫、北野雅治

欠 席 者：小沢 聖、沖 一雄、菅野洋光、皆已幸也、北宅善昭

### [議事録確認]

1. 2014年度第1回理事会議事録報告（資料1）（総務 荊木理事）  
次回理事会までに修正連絡し、その後確定。
2. 2013年度評議員会、2014年度総会の議事要旨確認（資料2・3）  
承認確定された。

### [報告・連絡事項]

1. 編集委員会報告（資料4）（編集 間野理事）
  - ・6月7日開催の編集委員会に関し「Journal of Agricultural Meteorology」および「生物と気象」の論文審査状況の説明とともに、以下の報告がなされた。
  - ①今年度の投稿数は ISAM を含め40報くらいになる予定である。
  - ②「Journal of Agricultural Meteorology」の掲載料の値上げについて、2015年の総会で変更を周知し、2016年の投稿原稿より値上げする予定であること、また、「生物と気象」については無料化したいとの方針が説明された（審議事項）。
  - ③J-stage 論文審査システムの利用に伴う負担金として、年間30,000円を今年から支払い予定である。
  - ④「Journal of Agricultural Meteorology」が2015年よりA4版化される。会員への周知の方法を検討する必要がある（審議事項）。
  - ⑤「Journal of Agricultural Meteorology」の特集号の企画を進めている。掲載は第71巻（各号に分散）とする予定で、必要に応じて特別編集委員を設定する予定である。
  - ⑥「Journal of Agricultural Meteorology」の「投稿論文等の審査に関する指針（和文）」を修正し、その結果を反映して、英語版を修正する予定である。
  - ⑦入退会届（和文・英文）は、第71巻のA4版化に併せて改訂する予定である。
  - ⑧著者修正期間を3ヶ月（90日）から2ヶ月（60日）に変更する。
2. 農業環境工学フェデレーション関連報告（総務 荊木理事）

2015年9月14日～18日に盛岡市で農業環境工学関連学会合同大会が開かれるとの報告がなされた。
3. 日本農業工学会関連報告（資料5）（総務 荊木理事）
  - ・正会員会費が値上げされ、30,000円となったとの報告がなされた。
  - ・日本農業工学会賞が創設されたとの報告があった。
  - ・30周年記念シンポジウムが開催され、特別功績賞の表彰が行われ、日本農業気象学会からは蔵田憲次会員が推薦され、受賞されたとの報告がなされた。

4. 日本農学会関連報告（資料6）（総務 荊木理事）

平成27年度日本農学会シンポジウムテーマの提案の依頼があったことが報告された。

5. 2014年北海道大会報告（資料7と別紙）（広田理事）

・広田理事より、2014年全国大会・ISAM2014の開催報告がなされた。

①会場費が多くかかったが、活力のある企画をたて大会の充実化を図った。

②大会参加者は250名であった。また、企業展示、広告数はそれぞれ、19社、5社で、過去最多であった。

・次回以降の大会開催に向け、以下のような反省点が報告された。

①申込書のフォーマットに改善すべき点がある。

②OSの進行をオーガナイザーに委ねた結果、発表時間や議論時間の時間配分がうまく行えなかった場合があった。

・企業展示については、今回の大会のような規模・内容で今後も続けてほしいとの意見が出された。

6. 表彰について（資料8）（表彰 広田理事）

・今年度の学会賞の公募に関する予定が報告された。

・新たに推薦用紙を作成したとの報告がなされた。また、ホームページの学会賞規程を最新版に変更してほしいとの意見が出された。

・候補者を積極的に推薦してほしいとの要請があった。

7. 2015年つくば大会の進捗状況について（資料9）（宮田理事）

・2015年3月17日～19日に開催予定の2015年度全国大会の進捗状況に関して、実行委員会、オーガナイズドセッション、ポスター発表、会場の準備状況など、資料に基づいて、説明がなされた。

・予定会場（文科省研究交流センター）は、17:00以降は使用できず、会議室は机や椅子を元通り整える必要があるとの報告がなされた。

8. 2016年全国大会について（総務 荊木理事）

・中国・四国支部が担当し、岡山市での開催を予定しているとの報告がなされた。

・日程については、3月開催とし、詳細な日時は検討中との報告がなされた。この報告を受け、関連学会の日程も考慮して、開催日程を設定してほしいとの意見が出された。

9. 選挙について（資料10）（庶務 脇山理事）

・選挙管理委員会のメンバー（森委員長、安武委員、脇山委員）と今後のスケジュールについて報告がなされ、承認された。

10. Global FAMS (世界農業気象学会連合)について（資料 別紙）（小林副会長）

・2014年4月10日～15日にトルコアンタルヤで開催された WMO-CAgM（世界気象機関農業気象委員会）に先立ち、4月8日に行われた Global FAMS (世界農業気象学会連合)の打ち合わせの概要について、以下のような報告がなされた。

・参加意思表明をしているのは、15（14ヶ国）の農業気象関連学会、あるいは研究グループである。

・会費は徴収しない方向での発足をめざし、事務局はイタリアに置く予定である。第1回の開催時期・場所は未定である。

## 11. その他

- ・研究委託について（資料11）（総務 荊木理事）  
会員からの研究委託の申し出への対応について説明があった（メール審議済み）。このような申し出に対応するには、法人格が必要になるとの意見が出された。
  
- ・大会講演要旨利用許諾について（庶務 石郷岡理事）  
大会講演要旨の利用許諾申請（ホームページに掲載）があったことが報告された。庶務理事が受付し、印刷不可、内容の変更不可、出典を明記することを条件として、許諾したことが報告された。関連して、学会誌の転載許諾について、中屋理事から説明がなされた。さらに、講演要旨集に記載された文章では連絡先が分かりにくいとの意見も出され、許諾申請に関する窓口をホームページに明記することとした。
  
- ・協賛・後援等（資料12）  
資料参照
  
- ・農学教育における参照基準  
日本学術会議で、農学教育における参照基準を作成中であるとの説明が大政会長からなされた。

### [審議事項]

1. 理事の就任について（資料11）（総務 荊木理事）  
東北選出理事 菅野理事の異動のため、皆川支部長が東北選出理事に、九州支部長北野理事が支部活性化担当の会長指名理事に就任することが承認された。
  
2. 農業環境工学関連学会2015年合同大会の担当者について（資料11）（総務 荊木理事）  
東北支部 皆川理事を担当とすることが承認された。
  
3. 平成27年度日本農学会シンポジウムテーマについて（資料6）（総務 荊木理事）  
提案があった場合は、メールにて連絡することとなった。
  
4. 学会賞の推薦システムについて（あり方委員会 富士原理事）  
あり方委員会から、学会賞の推薦の有効期間の変更に関する提案があった。現在は、推薦された年度のみ有効であるが、3年間は有効にする提案が出され、協議した結果、基本的な方針は承認された。ただし、学会賞規程の変更が必要となるため、総務理事と庶務理事で案をまとめて、次回理事会にて承認を得ることになった。
  
5. 表彰関連（資料8）（表彰担当 広田理事）
  - ・論文賞の賞状の文面に関して検討した結果、以下のことを決定した。
  - ①論文タイトルおよび著者のみを入れ込める定型文（ひな形）を作成する。
  - ②英文および和文のフォーマットは、広田表彰担当理事が作成する。また、英文の「Journal of Agricultural Meteorology」、和文の「生物と気象」のそれぞれに、会誌名・巻号・論文名の記載を行うことで承認された。
  - ③受賞理由は文中には含めない。
  - ④賞状の連番を復活する。英文と和文を分けるかについては今後検討する。

- ・論文賞審査について検討した結果、以下のことを決定した。

- ①英文誌「**Journal of Agricultural Meteorology**」と和文「生物と気象」の審査は分けて行う。
- ②英文誌は【**Original Paper**】（原著論文）とし、和文は【**総説**】を加え、次回理事会までに、総務理事と庶務理事で規程の変更案を作成し報告することで了承された。

- ・賞牌について

連名で受賞した場合の賞牌の授与に関して検討した結果、1件の学会賞につき原則賞牌は1つとし、要望があった場合は、賞牌は実費とすることで承認された。

## 6. 編集関連（資料4）

- ・英文誌の掲載料値上げについて、オープンアクセスや早期公開の有料化なども含めて、議論した。その結果、掲載料については、「筆頭著者が会員である」、「著者に会員が含まれる」、「著者に会員が含まれない」の三段階の区分を設けて会員特典を検討することとした。来年の総会に提出できるように、金額等については、次回の理事会までに編集理事、会計理事、総務理事で意見をまとめて報告することとなった。

- ・「**Journal of Agricultural Meteorology**」は Vol.71 No.1から A4版とし、「生物と気象」も A4版にすることで承認された。メール広報と冊子（9月と12月）に A4版化の案内を行うこととした。なお、各論文の開始ページは、偶数ページとすることとした。

- ・和文誌の **Journal Scope** に相当するものを編集委員会が作成することとした。

## 7. その他

- ・電子著作物の権利委託について（資料13）（総務 荊木理事）  
学術著作権協会から、電子著作物の複製等に関する権利委託に関する検討依頼が来ていることが紹介された。

- ・第3回、第4回理事会の日程について（資料11）

- ①第3回は、東京大学農学部 で9月6日(土)に開催予定。
- ②第4回は、東京大学農学部 で12月13日(土)に開催予定。